

平成26年7月18日

保護者の皆様へ

千早赤阪村立赤阪小学校  
校長 橋本 雅延

## 通知表（のびる子）の改訂について

本校の通知表「のびる子」は、日ごろのお子さんの学校での学習・生活の様子や状況をお知らせし、学校と家庭が同じ見方で、力を合わせて、お子さんの望ましい成長に役立てていただくためにお渡ししています。

さて、小学校では平成23年に新しい「学習指導要領」が全面実施され、新しい教科書を使用しての学習も3年が経過しました。この新学習指導要領は、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体といった知・徳・体のバランスのとれた力である「生きる力」をより一層育むことを目指し、基礎的・基本的な知識や技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成の両方を重視しています。

本校でも、新学習指導要領の趣旨を踏まえると同時に、より細やかでわかりやすいものになるように「のびる子」の観点を一部改訂しました。

具体的な改訂点と評価の説明は以下の通りです。

- ①新学習指導要領にともなって示されている評価の観点である「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」の観点をそれぞれの教科に設けました
- ②「技能」「知識・理解」の観点は、「単元別」「領域別」（※）にして文章で具体的に表記し、「何ができていて、何が不十分なのか。」がわかりやすいようにしました。
- ③「外国語活動」「総合的な学習」については、活動内容に触れながら、お子さんの特によかった点などを文章で表記しています。
- ④「おこないのようす」は、他人との比較や目標の到達度ではなく、個人内評価とし、日ごろのお子さんの生活の様子を評価しています。

他人との比較や位置ではなく、子どもたちが各教科のねらい（目標）に対して、どの程度到達できたかを3段階（1年生1学期は2段階）で評価していることについてはこれまでと同じです。

「のびる子」でお知らせする評価を結果として断定的にとらえるのではなく、その後の指導の参考にしたり、生かしたりすることでこれからのお子さんの成長につなげていくことが大切と考えています。

ご家庭におかれましては、「のびる子」をもとにして学習や生活の中におけるお子さんのがんばったところ、努力したところ、伸びたところ、そして課題に目を向け、励ましながら、お子さんの新たな意欲や目標につながるようご活用いただければ幸いです。

---

（※）「単元別」の具体的な表記の例

・角度についてわかり、分度器を使って測定・作図ができる。

「領域別」の具体的な表記の例

・器械運動ができる。